

## 体育祭と図書館



2019年度の体育祭を図書館から撮影しました。応援合戦、スポーツパレード、全員でのフォークダンス等、とても感動しました。過去を振り返ってみましょう。

姫路高校の前身の鷺城中学校は昭和14年(1939年)4月15日に開校しています。開校した年の11月3日には第1回体育大会が盛大に開催されています。今日伝わっているプログラムを見ると、例えばリレーという言葉が一切使用されておらず、”縦走”となっており、当時の政局を反映していて面白い。また開校第2年目(1940年)の体育大会も11月3日に行われています。この年は父母の来観を促したので、多数の観覧者がありました。第3年目も同じ日に行われています。この年はマイクロフォンの設置があり、進行がスムーズに行ったようです。手榴弾投、戦車競争、負傷者運搬競争、国防競争といった種目が入っており、政局が一層色濃く出ています。

昭和52年(1977年)ころより伝統のデコレーション並びにパネル組立てによる応援席の規模を縮小しています。近隣の住宅化と材料調達の困難さなどが原因です。体育祭終了後の営火はかつてのような狂喜乱舞は見られなくなり、フォークダンスが主体となっています。

今日の体育祭は先輩から引き継いでいる有形・無形の知識・技術により立派な物を作り上げていますね。まさに伝統の体育祭です。

一方、図書館は開校2年目の昭和15年(1940年)の「使用教室平面図」を見ると、教室の三分の一程度の「図書室」が設置されています。また翌年の昭和16年(1941年)の「使用教室平面図」を見ると、教室と同程度の「図書室」が設置されています。開校当初から教育の場における図書館の重要性が認識されていたものと思われます。

以上は図書館にある『清明 鷺城中学・姫路高校50年史』(分類番号090)で調べられます。